

ポスターセッションをしよう

年 組 番 名前

◇ かおりさんとあきとさん、なおこさんのグループは、耳の不自由な方の生活について調べたことを、学習発表会で
おうちの方にも伝えようと考えました。

そこで、必要なしりょうを集め、ポスターを作りました。

耳の不自由な方の生活 ～わたし達にできることは～

会話はどうしているの

- ・手話を使う人が多い
- ・身ぶり手ぶりでも伝わる
- ・メモ用紙に書いたり、書いてもらったりする。

町の中こんな時、困ります

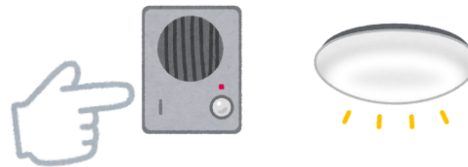
- ・後ろから自転車が来た時
(ベルが聞こえない。)
- ・後ろから呼びかけられた時
(聞こえないので
行ってしまう。)

生活はわたし達と同じ

- ふだんの生活はみんなと同じ
むかしより便利なものがふえた。
- ・字幕や手話通訳
 - ・ファックス
 - ・電子メール

特別な道具

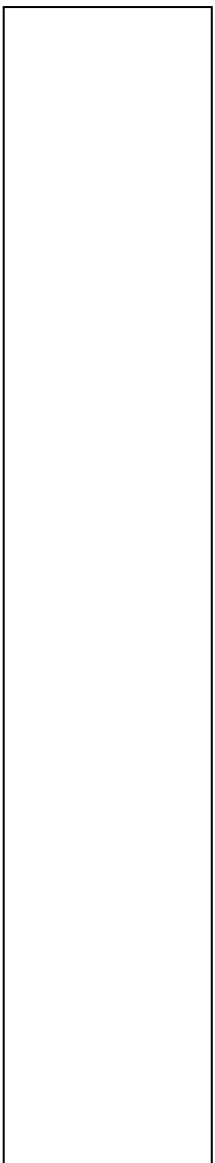
ブザーがなると光るライト



わたし達にできることは

聞こえていないと思ったら手をさしのべよう

一、発表するときにはポスターがあるとなぜよいのですか。



二、発表したいことの内容は何でしょう。一つに○をつけましょう。

() 便利な道具を使って、わたしたちと同じ生活ができるからよかった。

() 手話をおぼえないとなかよくできないので、手話をおぼえてほしい。

() 便利な道具もあるけれど、町でこまることもあるので、わたしたちも手をかそう。

三、あきとさんはさいしよのあいさつと、「ふだんの生活」について話しました。二番目のかおりさんは、「会話について」を話します。

《かおりさんの発表》

① 会話はどうしてしているのかを発表します。耳が不自由な人のほとんどが、手話を使っています。聞こえない人どうしは手話で話します。

② では、手話ができない人とは会話ができないのでしょうか。
③ いいえ、そういうわけじゃない。実は、身ぶり手ぶりでも伝わるものがたくさんあります。また、耳の不自由な方は、メモ用紙や小さなボードを持ち歩いていて、会話の必要があるときは、そこに書いたり書いてもらったりして会話することができるのです。

(一) 二番目に話すので、
① にはどんなつなぎ言葉を
入れるとわかりやすくなるでしょう。

①

(二) 「②では、手話ができない人とは会話ができないのでしょうか。」と、聞き手にしつ問するような言い方で話しています。このような言い方には、どのようなよさがありますか。

ポスターセッションをしよう (答え)

一、発表するときにはポスターがあるとなぜよいのですか。

(例) 話したいことをわかるやすく伝えられる、絵があるとわかりやすい、これから話すことの全体がつかめるなど

二、発表したいことの中には何でしょう。一つに○をつけましょう。

() 便利な道具を使って、わたしたちと同じ生活ができるからよかった。

() 手話をおぼえないとなかよくできないので、手話をおぼえてほしい。

(○) 便利な道具もあるけれど、町でこまることもあるので、わたしたちも手をかそう。

三、あきとさんはさいしよのあいさつと、「ふだんの生活」について話しました。二番目のかおりさんは、「会話について」を話します。

(一) 二番目に話すので、①にはどんなつなぎ言葉を
入れるとわかりやすくなるでしょう。

① 次に、

(二) 「^②では、手話ができない人とは会話ができないの
でしょうか。」と、聞き手にしつ問するような言い方で話
しています。このような言い方には、どのようなよさがあ
りますか。

(例) 聞き手に問いかけて、いっしよに考えてもらうた
め。大切なところなので、聞き手の注意を引き出すた
め。 など

(三) 「^③いいえ、そういうわけじゃない」は、おうちの方
への発表としてはふさわしくない言い方です。直して書
いてみましょう。

いいえ、そういうことでは(そんなことは)ありません。

(四) なおこさんは、特別な道具について絵をさしながらせつ明します。

次の三つの言葉を入れてじっさいにせつ明する文を作りましょう。

ブザー 光る ライト

次に、耳の不自由な人のために作られた道具をしようかいしましょう。

この絵を見てください。

(例)お客さんが来て、げんかんのブザーを鳴らします。すると、ブザーにはんのうして部屋のライトが光ります。

このライトは、ブザーの音が聞こえなくても、お客さんがきたことがわかる道具です。

この絵を見ると、ブザーを押すと、音だけでなく、光がつくことがわかります。

ですから、まずは、インターホンを指しながらブザーについてせつ明し、次にライトを指してライトが光ることをせつ明する、という順番で話を進めていきましょう。